

立命館宇治高等学校における 国際バカロレアディプロマ・プログラム (IBDP)

2010年4月、立命館宇治高等学校で国際バカロレアディプロマ・プログラムが正式にスタートしました。立命館宇治高等学校は2009年8月に正式認可を受け、関西地区の一条校では初めて、また日本国内の一条校では3番目のIBワールドスクールとなりました。現在、本校では高校2年生から国際バカロレアディプロマ・プログラムを選択することができ、本校初の国際バカロレアディプロマ・プログラム履修生たちは2010年、2011年の学習を経て、2011年11月のディプロマ試験へと備えます。

立命館宇治高等学校では今年4月に国際バカロレアディプロマ・プログラムを開始したばかりですが、生徒たちは自分自身の高いゴールを目指し、日々学習に励んでいます。教科の学習以外にも、創造性・活動・奉仕 (CAS) プログラム導入講座、また来月行われる課題論文 (Extended Essay) “ミニ・キャンプ” などを通じ、生徒たちは18ヶ月に渡る大きなプロジェクトに着々と取りかかっています。

充実した IB カリキュラム

立命館宇治高等学校の国際バカロレアディプロマ・プログラムでは、生徒たちは様々な科目から自分自身にあった科目を選ぶことができます。規定により3科目は上級レベル (Higher Level)、3科目は標準レベル (Standard Level) を選択します。教科以外の学習要件としては、知識の理論 (Theory of Knowledge)、課題論文 (Extended Essay)、創造性・活動・奉仕 (CAS) があります。知識の理論では、

高度なクリティカルシンキングや認識論を学び、課題論文では4000語の論文を書きあげ、創造性・活動・奉仕では生徒たちが自分たちで活動内容を決め、それらに取り組みます。現在、本校の国際バカロレアディプロマ・プログラム履修生たちは、約半数が理系科目を2科目上級レベルで履修し、またそのうちの数名は数学系科目を上級レベルで履修しています。かなりハードなスケジュールではありますが、

それぞれの科目においてトップレベルの教師陣が生徒を重点的にサポートしています。その他、芸術や中国史、ビジネスマネジメントなどの科目も用意されており、生徒たちは自分自身にあった選択を行うことができます。



先輩の話

Matthew Thomas (マシュー・トーマス)

立命館宇治中学校・高等学校
IB 教育部長 / IB Diploma Coordinator

新入生との出会いにワクワクしています。
今後も立命館宇治 IB のユニークな授業を紹介していきます。
楽しみにしていてください。



IB の理念を実現させる「IB 理想の学習者像」

IB ワールドスクールでは、「IB 理想の学習者像」をカリキュラムだけでなく、学校全体の理念として広く浸透させるよう努めています。「IB 理想の学習者像」には10の学習者像があり、立命館宇治高等学校におけるIBプログラムも、これらの学習者像全てを常に意識し、生徒が理想の学習者像に近づけるよう指導しています。本校では、それぞれの学習者像を表したシンボルを独自に作成し、生徒にも分かりやすくしています。



外交政策授業

今年の4月には、国際バカロレアディプロマ・プログラムで学ぶ生徒たちが、来年度からプログラム履修を希望している生徒に対し「学習者像を学ぶ会」を開きました。それぞれの生徒が自分自身に最も合った学習者像について話をしたり、教師とペアになり寸劇を披露したりして、日々の心構え次第でいかに学習者像に近づくことができるのか、ということを知りやすく説明してくれました。

創造性・活動・奉仕 (CAS)

国際バカロレアディプロマ・プログラムで学ぶ生徒たち、また来年度からプログラム履修を希望している生徒たち (Pre-IBDP) が、創造性・活動・奉仕 (CAS) を行うために、本校ではフィールドトリップや関西地区でのボランティア活動を計画しています。現在行っているものは、演劇トレーニング (大阪) や地域探索活動 (宇治、平等院、宇治上神社) です。国際バカロレアディプロマ・プログラムで学ぶ生徒たちは、自分たちで創造性・活動・奉仕 (CAS) 活動を計画し、実行していきます。

学生会議、そして今後の活動

今年の夏には、本校の国際バカロレアディプロマ・プログラムで学ぶ生徒たちは、本校からの代表生徒と共に、様々な国際学生会議に出席します。参加要件を満たすために、生徒たちは論文を提出し、面接を突破しなければなりません。しかし、それらに対する努力の向こう側には、世界中から集まった若者たちと、世界レベルの大学や施設で多様な意見を交わす機会が与えられるのです。これらの会議に参加することで、自分自身の視野を広げるだけでなく、世界中の学生と交流し、ネットワークを広げ、進路、そして将来への扉を開くこととなるのです。



学生会議ポスター

立命館宇治中学校・高等学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33-1

TEL : 0774-41-3000 FAX : 0774-41-3555

HP : www.ritsumei.ac.jp/ujc E-mail : uji-returnee@ujc.ritsumei.ac.jp



立命館宇治のIBDPが、いよいよスタートしました。その責任者のトーマス先生のプログラム紹介です。

1回生諸君とIB教員の皆さんは、4月からの「18ヶ月に渡る大きなプロジェクト」に果敢なチャレンジ続けます。皆さんの健闘を心から祈ります。立命館宇治の為だけではなく、日本の教育のために！